



2024年3月期 第3四半期 決算説明資料

証券コード：9223

2024年2月14日

主要トピックス

東京証券取引所 グロース市場に上場

2022年4月名古屋証券取引所に新規上場し、翌年12月東京証券取引所への上場も達成。地方市場上場の翌年に東京証券取引所に上場できたことは非常に稀な快挙。

株式分割

2024年3月31日を基準日として1:2の株式分割を発表。株式の流動性と投資家層の拡大、株主数増加を図る。

発表

第3四半期累計 売上高

旺盛な足場需要により、第3四半期累計で過去最高売上高を達成。力強い国内需要を背景に、さらなる売上高向上を目指す。

過去最高

11 拠点

ASNOVA STATION パートナー拠点数

2022年10月にサービスを開始したパートナー事業が順調に推移し自拠点と合わせ全国に30拠点の機材センターを展開。早期に全国への足場レンタルビジネス拡大を目指す。

目次

- | | | | |
|-----------|-----------------------|---|----|
| 01 | ASNOVAとは | > | 4 |
| 02 | 2024年3月期 第3四半期 業績（累計） | > | 12 |
| 03 | その他の重要指標とサービスの状況 | > | 19 |
| 04 | 2024年3月期 通期業績の見通し | > | 24 |

01

ASNOVAとは

会社概要

会社名 株式会社ASNOVA (ASNOVA Co., Ltd.)

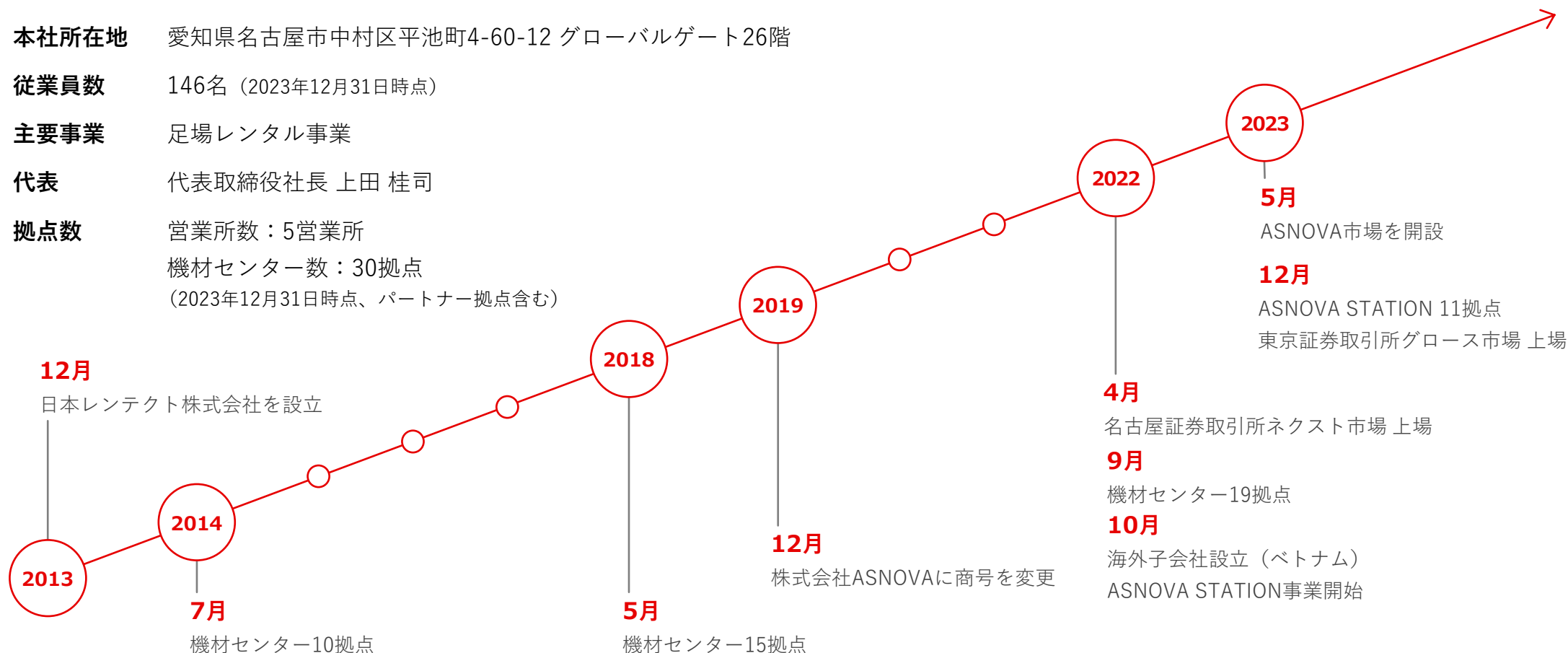
本社所在地 愛知県名古屋市中村区平池町4-60-12 グローバルゲート26階

従業員数 146名 (2023年12月31日時点)

主要事業 足場レンタル事業

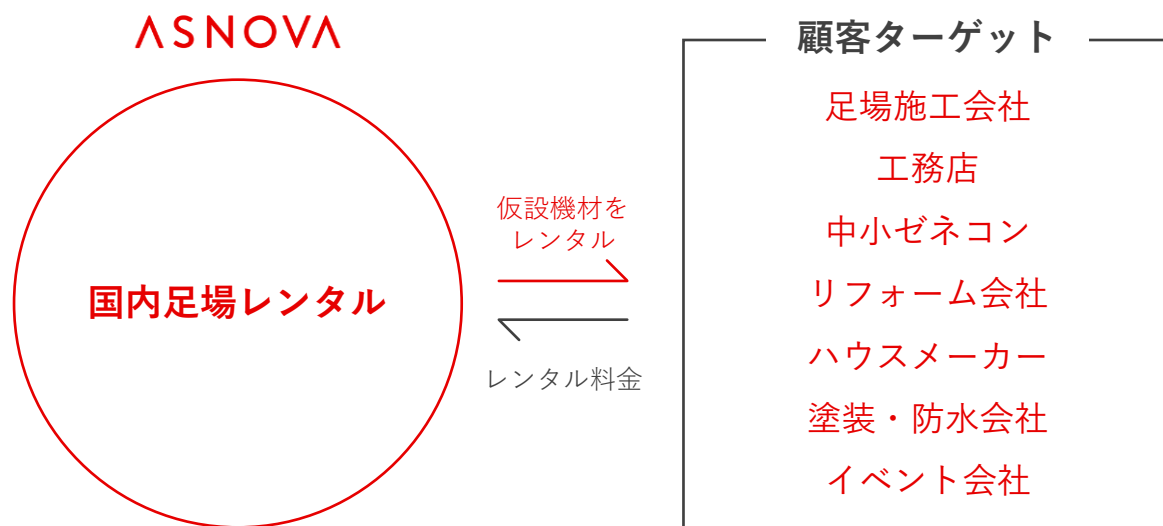
代表 代表取締役社長 上田 桂司

拠点数 営業所数：5営業所
機材センター数：30拠点
(2023年12月31日時点、パートナー拠点含む)



ASNOVAの主要事業：足場レンタル

- 低中層の建物や住宅に使用される「くさび式足場」を中心に、足場施工業者などへ仮設機材をレンタル。
- 多くのお客様と取引することでリスクを分散。



メイン顧客は売上規模1億～3億円の足場施工業者

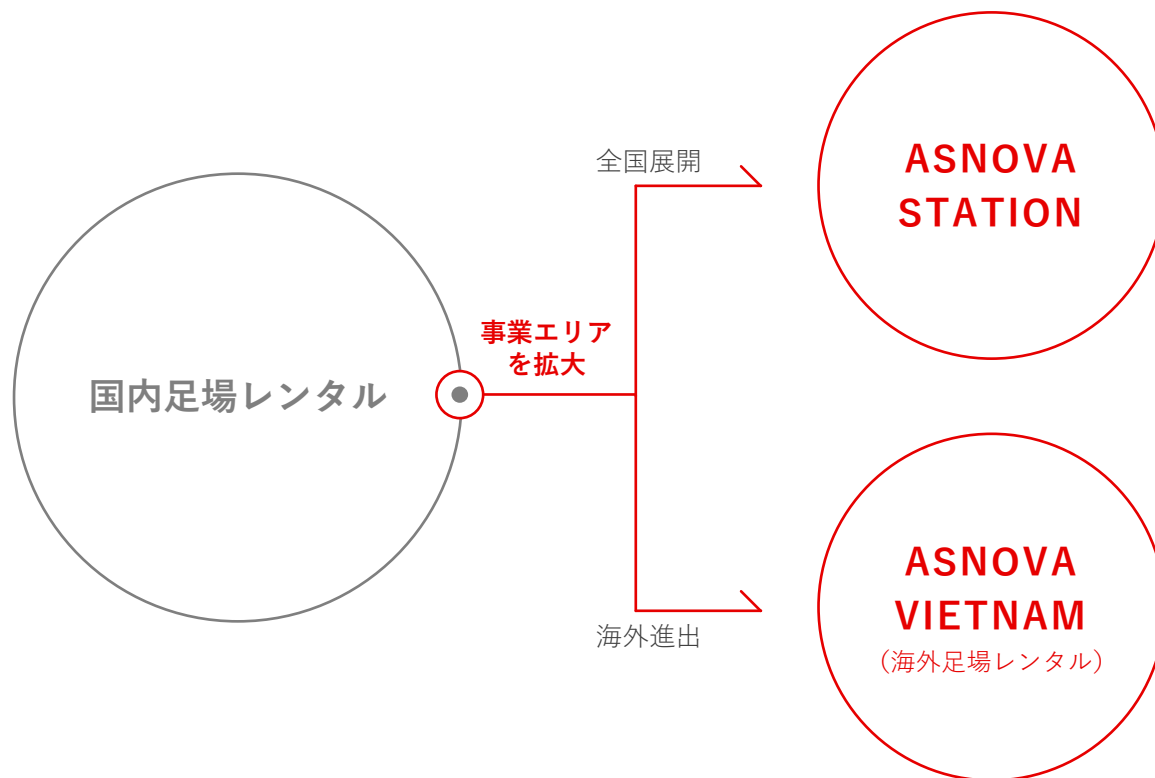


くさび式足場の特徴

- 主に高さ45mまでの低中層建物の工事で使用
 - ハンマー1本で簡単に設置・解体が可能
- 施工・運搬・保管の効率が高く費用を抑えられる

足場レンタルを“広げる”2つの事業

- 全国各地において安心して足場を提供できるよう、パートナー企業を通じた全国展開を推進。
- 足場レンタルをグローバル展開していく第一歩としてベトナムへ進出。2022年10月、現地に子会社を設立。



足場の需要が年々高まっている中で、
パートナー企業に足場機材やノウハウを提供することで
供給が間に合っていない地域においても
足場を届けられる仕組みを確立。

－ 2022年10月 事業ローンチ

アジアを起点とした海外展開を見据え、
建設ラッシュで沸くベトナムに進出。
品質・安全性の高い足場（日本での経年材）と
日本で培ったノウハウを活用したレンタル事業を展開。

－ 2022年10月 海外子会社設立（ベトナム）

ASNOVA STATION

- 当社の直営拠点だけではレンタルサービスが行き届かないエリアにおいて、パートナー企業と連携したレンタル事業を展開。
- ASNOVAからパートナー企業に対して足場機材や商標・ノウハウを提供し、パートナー企業はエンドユーザーへ足場機材をレンタル。



2022年10月 事業をローンチ

全国各地においても
「いつでも、近くで、安心して借りられる」を実現



拠点一覧

主要都市にある直営拠点から
距離の遠い地域・エリアを
パートナー企業がフォロー



ASNOVA VIETNAM

- 日本での足場レンタル事業で培ったノウハウを生かし、中長期的に経済成長が続き建設ラッシュに沸くベトナムへ進出。



経年材のセカンドマーケットとして

ベトナム製 **5年程度**で買い替え

日本製 (当社管理) **20~30年以上**使用可能

日本製の足場は品質が高く、当社で管理した場合はベトナム製足場と比べて4倍以上の期間で使用可能。

3つの優位性

- レンタル会社の選定には在庫量、拠点の近さ、機材の品質が重要である傾向をお客様の声から把握。
- 同業他社と比較してトップクラスの足場保有量・拠点数・顧客数を有し、「いつでも」「近くで」「安心して」借りられる体制を実現。

いつでも

豊富な在庫量

148億円の

足場を保有

〔算出方法〕
直近5年の平均仕入単価×保有量

近くで

拠点数の多さ

全国各地に

30拠点

直営機材センター：19拠点

パートナー拠点：11拠点

安心して

品質と対応力

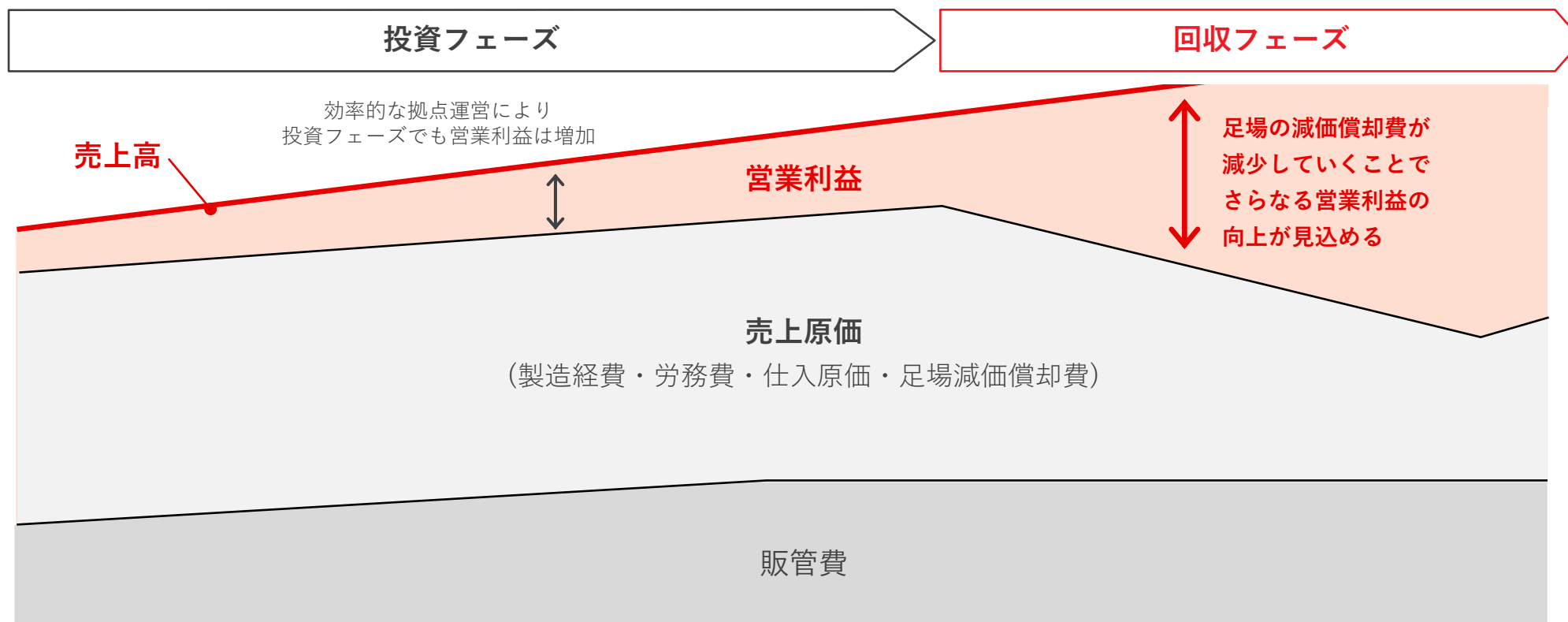
顧客数は

2,700社超

提供する足場の品質と
お客様への対応力により
安心して借りられる

収益構造のイメージ

- 当面は「投資フェーズ」と位置づけ、足場保有量を増やすために積極的な投資を継続。
- 投資フェーズで売上原価の過半を占めている足場の減価償却費が「回収フェーズ」にて大幅に減少。



02

2024年3月期 第3四半期 業績（累計）

業績ハイライト

- 積極的な足場投資と旺盛な足場需要により、新規顧客も前期比で大幅に増加。
- 原材料の高騰のうけ足場販売が苦戦したが、利益率が高い足場レンタルに注力。

売上高

2,760 百万円

前年同期比 +17.1%

売上総利益

820 百万円

前年同期比 +34.8%

営業利益

222 百万円

前年同期比 +61.7%

足場保有額

148 億円

〔算出方法〕 直近5年の平均仕入単価×保有量

顧客数

2,776 社

前年同期比 +324社

EBITDA

1,330 百万円

前年同期比 +30.5%

損益計算書（前年同期比）

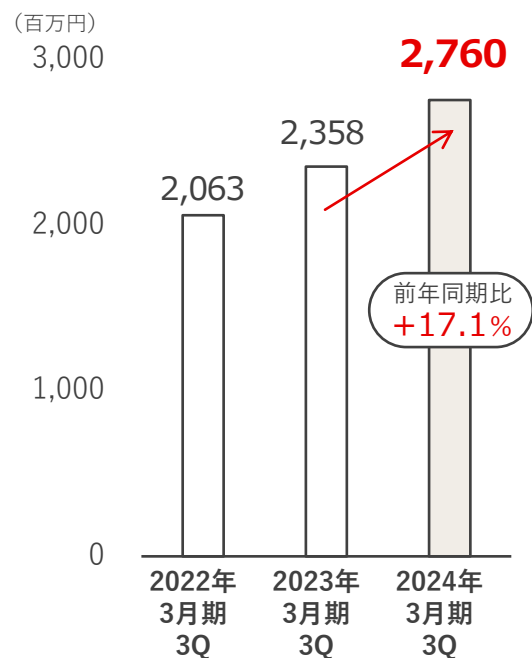
- 国内の営業利益率は10%を超える成長に。
- 一定の利益を確保しながらも積極的な投資を継続し、着実な成長を目指す。

(単位：百万円)	2023年3月期 第3四半期	2024年3月期 第3四半期		増減額	前年同期比
		(連結)	内、国内事業		
売上高	2,358	2,760	2,759	+ 402	+ 17.1%
売上総利益	608	820	833	+ 211	+ 34.8%
営業利益	137	222	279	+ 84	+ 61.7%
経常利益	147	210	269	+ 63	+ 43.1%
当期純利益	91	122	181	+ 31	+ 34.2%
売上高営業利益率	5.8%	8.1%	10.1%	-	-
EBITDA	1,019	1,330	-	+ 311	+ 30.5%

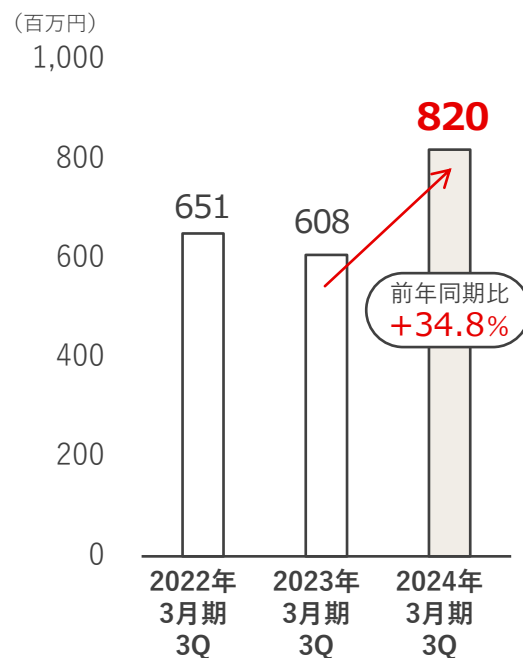
第3四半期累計業績推移

- 原材料高騰のため足場の販売は苦戦（第3四半期累計の販売予算265百万に対し170百万円）。
- しかしながらレンタルが好調のため営業利益は前年同期比で61.7%増。

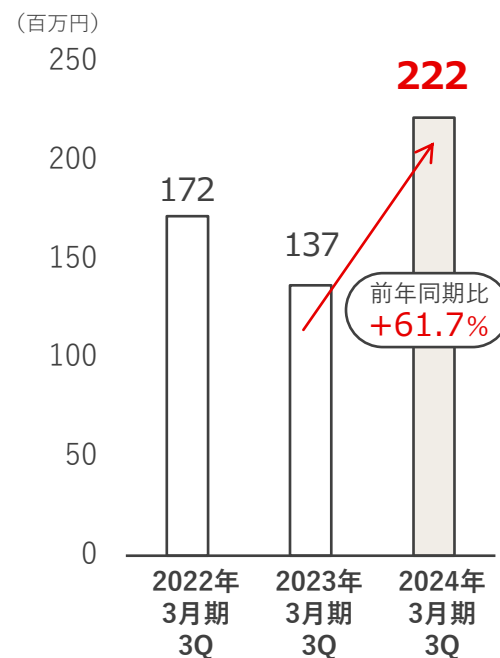
売上高（累計）



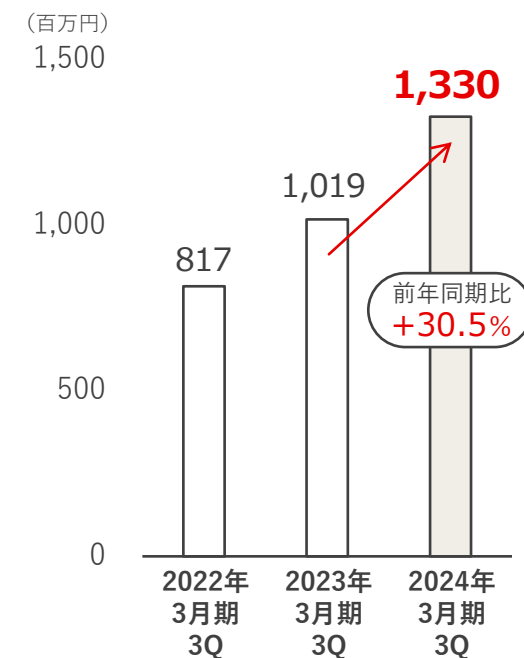
売上総利益（累計）



営業利益（累計）



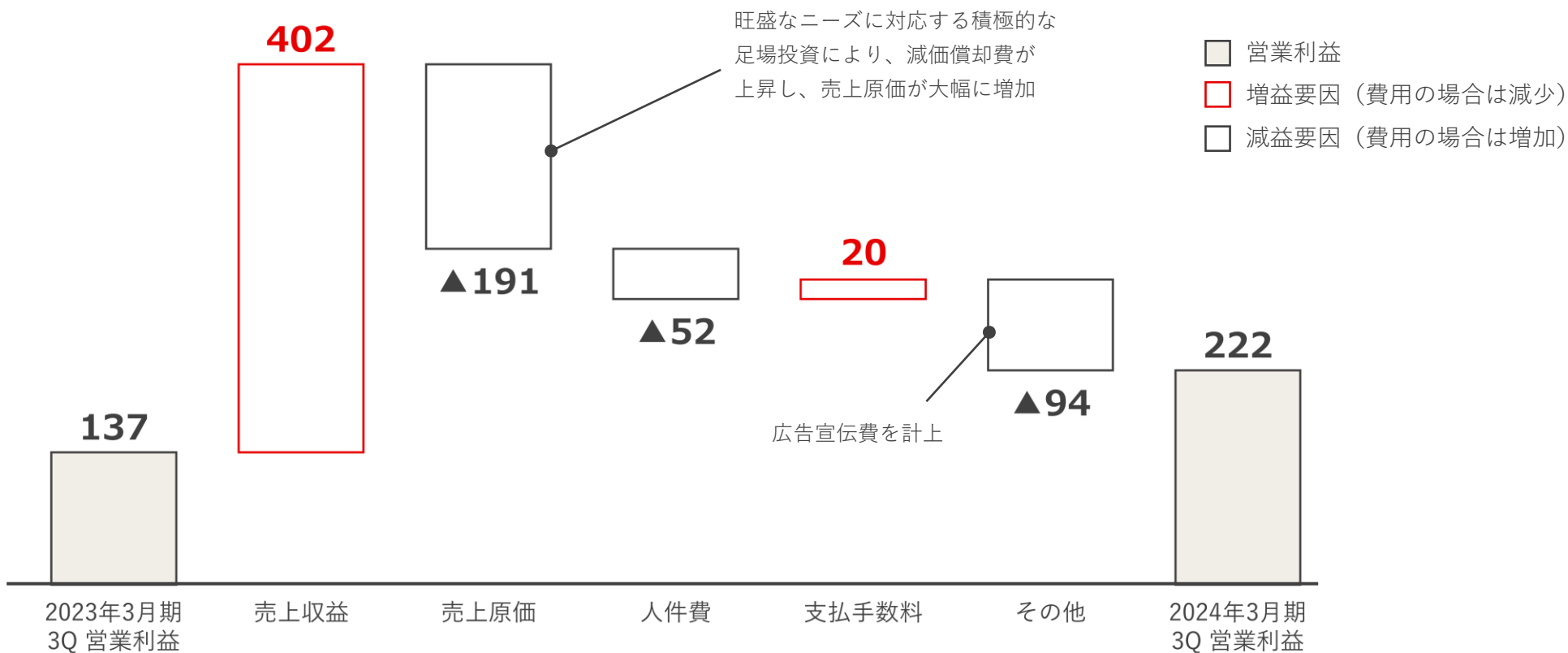
EBITDA（累計）



営業損益増減要因分析

- 足場の減価償却費が大半を占める売上原価が大きく上昇したが、それ以上に売上収益が増加したため、前期比で増益となった。
- 昨年12月25日東証グロス上場時に上場広告を出稿したことが、その他（広告宣伝費 27百万円）減益要因の大きな理由。

（単位：百万円）



貸借対照表

- 足場投資（24.4億円）により、固定資産が増加。
- 需要を見極めながら、適切な足場投資を継続する。

(単位：百万円)	2023年3月期 第3四半期末	2023年3月期 期末	2024年3月期 第3四半期末	前期末比 増減
流動資産	1,281	1,448	1,934	+485
現金及び預金	537	679	1,069	+389
固定資産	6,166	5,840	7,721	+1,881
資産合計	7,447	7,289	9,655	+2,366
流動負債	2,022	2,142	2,745	+602
固定負債	2,689	2,356	3,963	+1,606
純資産	2,735	2,789	2,947	+157
負債・純資産合計	7,447	7,289	9,655	+2,366
自己資本比率	36.7%	38.3%	30.5%	▲7.8%

損益計算書（四半期毎の推移）

● 第3四半期の売上高は過去最高を達成。

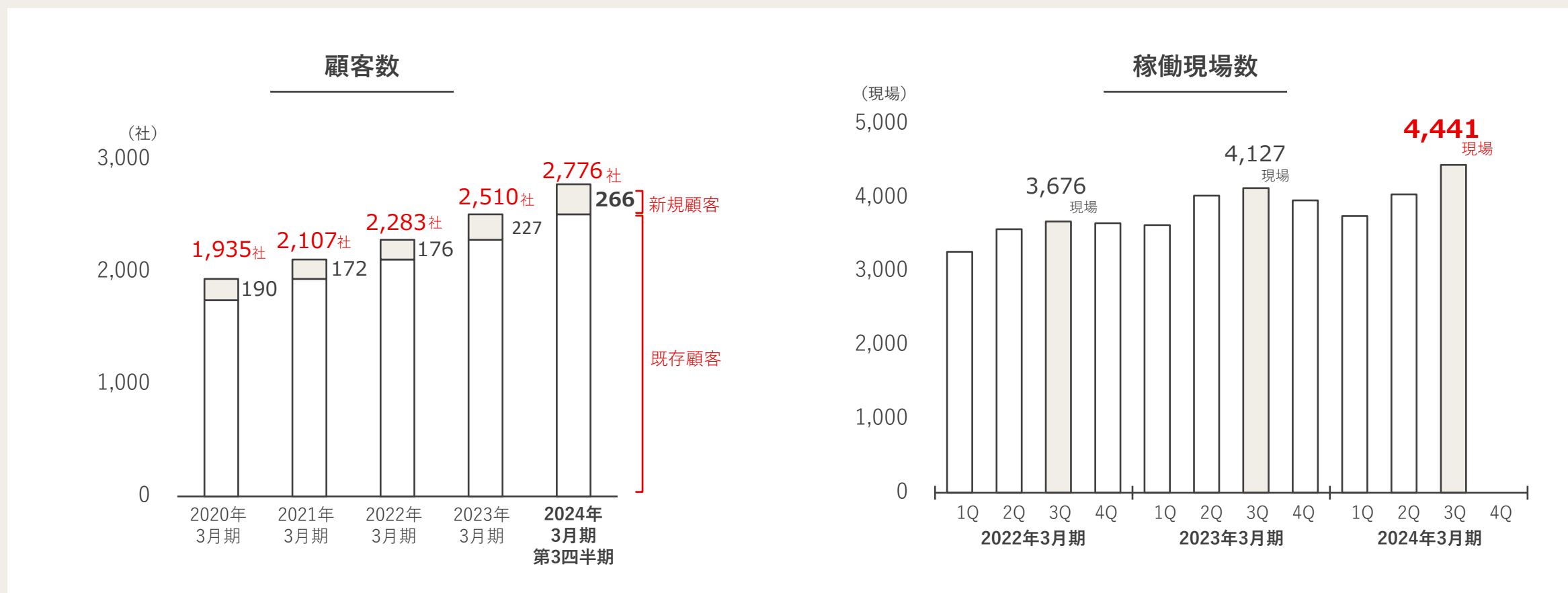
	2022年3月期				2023年3月期				2024年3月期				
(単位：百万円)	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	YoY 増減額	YoY 増減率
売上高	635	682	746	615	673	789	894	782	792	916	1,052	+157	+17.6%
売上総利益	148	229	273	158	148	183	276	197	208	271	340	+64	+23.4%
売上総利益率 (%)	23.4%	33.6%	36.7%	25.8%	22.1%	23.3%	30.9%	25.2%	26.3%	29.6%	32.4%	-	+1.5Pt
営業利益	16	30	124	▲5	▲21	11	146	50	▲0	81	141	▲5	▲4.0%
営業利益率 (%)	2.7%	4.5%	16.7%	▲0.9%	▲3.1%	1.5%	16.4%	6.4%	▲0.0%	8.9%	13.4%	-	▲3.0pt
経常利益	32	41	166	47	▲15	17	145	65	▲0	80	129	▲15	▲10.5%
当期純利益	19	26	131	26	▲12	6	97	52	▲6	48	81	▲16	▲16.9%

03

その他の重要指標とサービスの状況

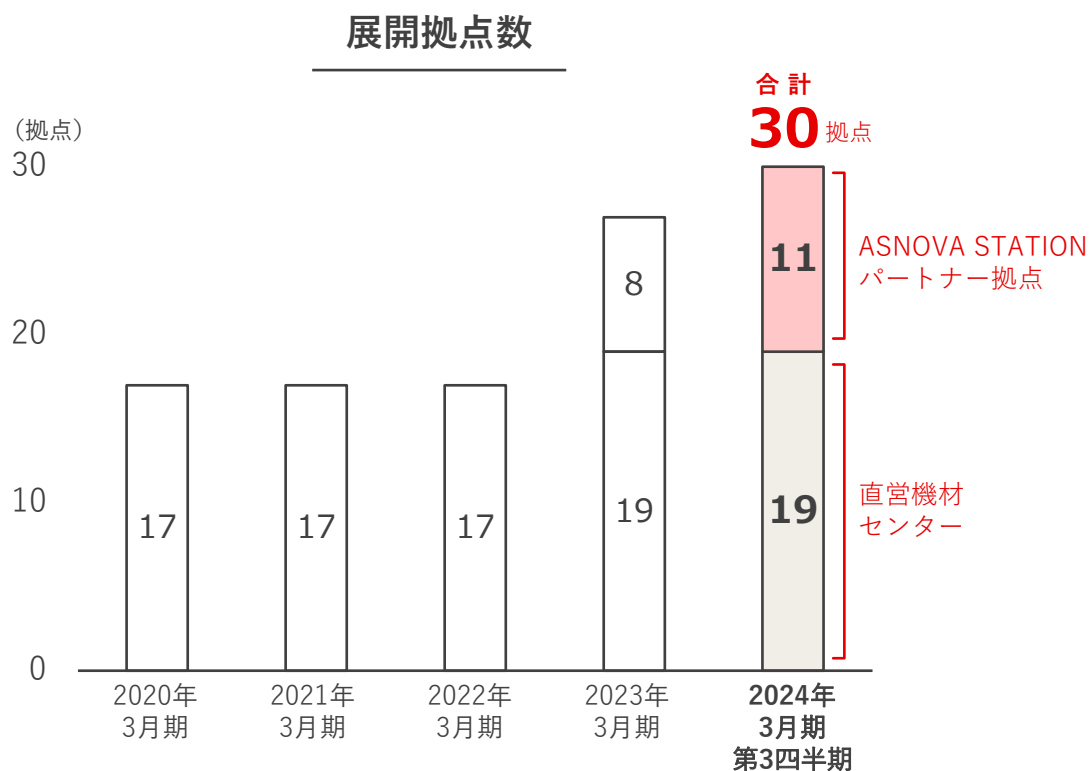
顧客数と現場数の推移

- 足場保有量と拠点数増加に伴い、新規顧客・稼働現場数は今後も順調に推移する見込み。



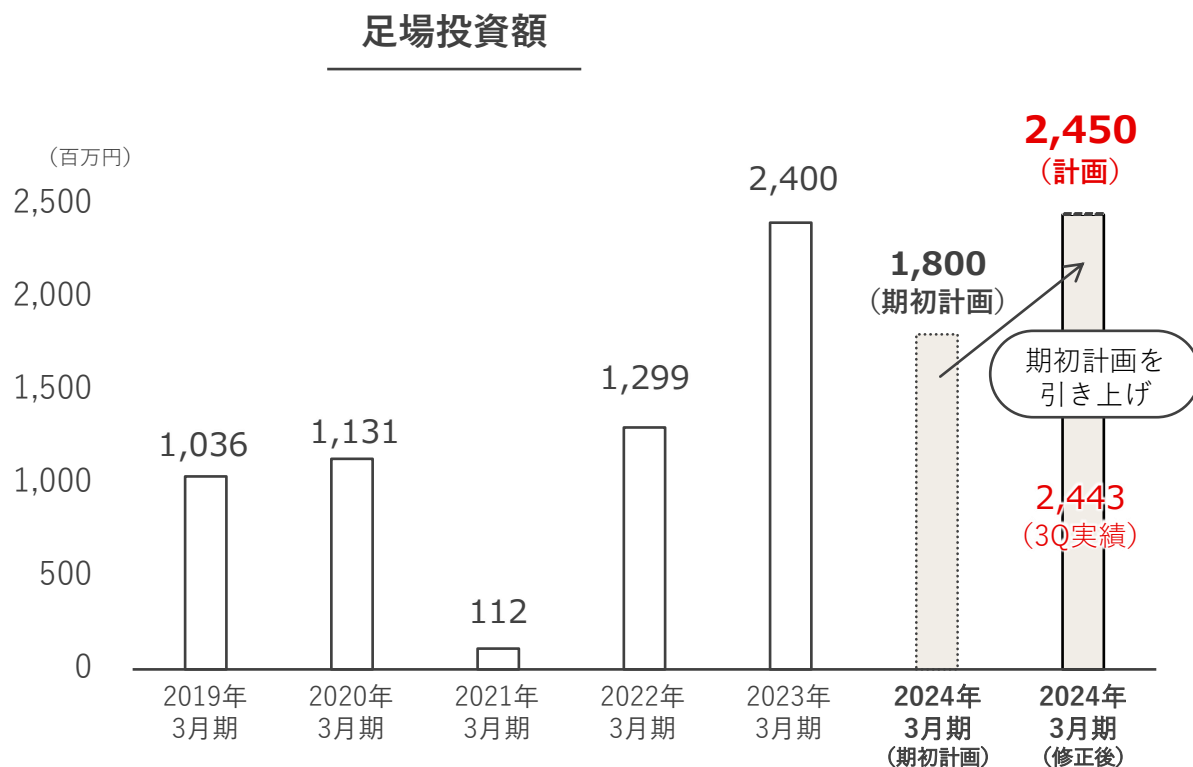
拠点数の推移

- 直営機材センター及びパートナー拠点の拡大で全国へ足場レンタルを展開する。
- 期末時点では合計36拠点（直営機材センター21拠点＋パートナー拠点15拠点）とする計画。



足場投資額の推移

- 旺盛なニーズに対応するべく、今期の年間足場投資計画を18億円から24.5億円へ引き上げ。



[算出方法] 直近5年の平均仕入単価×保有量

仮設機材総合サイト「ASNOVA市場」

- 一般の方でも仮設機材の買取と販売をネット上で決済できるECサイト「ASNOVA^{いちば}市場」。
- SEO対策、既存のお客様へのアプローチなどで認知が拡大し、利用者数は堅調に増加。

ASNOVA 市場

「日本一の仮設機材の総合サイト」を目指して



2023年 5月 サービス開始

URL
<https://asnovaichiba.com/>

サービス開始後の実績

買い取り量

255 t

※2023年12月31日時点

中古の仮設機材は非常に人気があり、ASNOVA市場の利用者は堅調に推移しております。仮設機材を必要な人、場所へ安価で販売し、循環型社会へ貢献していきます。

04

2024年3月期 通期業績の見通し

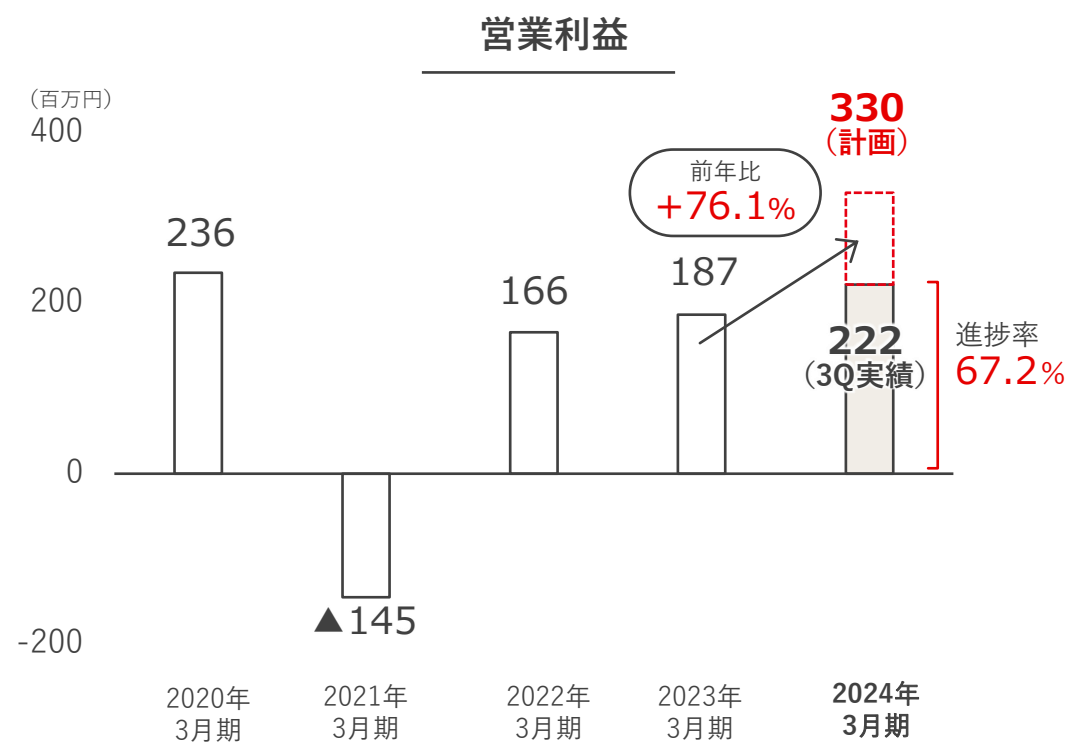
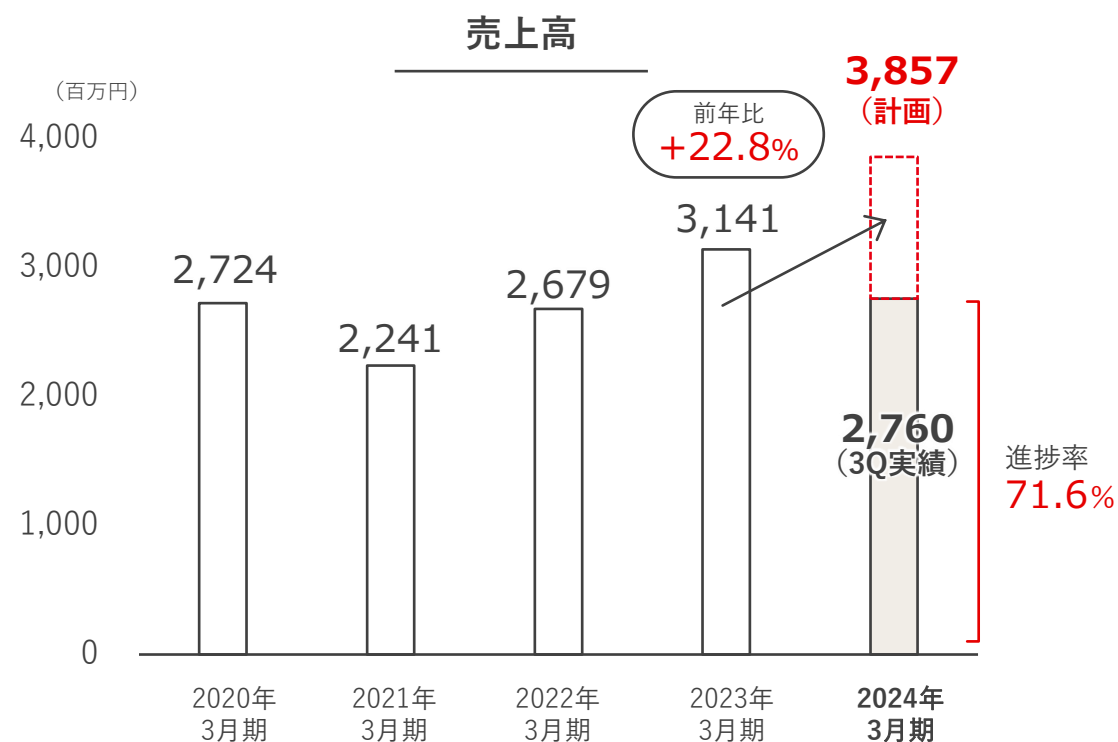
2024年3月期の業績予想

- 旺盛なニーズと新規事業の貢献を背景に、今期は過去最高の売上高、利益となる見込み。
- 足場販売が未達のため売上は計画当初より約3.1%未達の可能性があるが、利益率の高いレンタルに注力し営業利益はおおよそ見込み通り。

(単位：百万円)	2023年3月期実績 (連結)	2024年3月期予想		増減額	前年同期比
		(連結)	内、国内事業		
売上高	3,141	3,857	3,826	716	+22.8%
売上総利益	805	1,074	1,123	268	+33.4%
営業利益	187	330	452	143	+76.1%
経常利益	212	310	444	97	+45.6%
当期純利益	144	182	314	38	+26.7%
売上高営業利益率	6.0%	8.6%	11.8%	+2.6pt	—
EBITDA	1,400	1,789	-	+ 388	27.8%

売上高と営業利益の推移予想

- 原材料の高騰をうけ足場販売が苦戦。売上高の進捗率は想定より約3.1%未達。営業利益はおおよそ想定通りの進捗。
- 通期目標達成に向け、第4四半期の売上最大化を目指す。



「足場といえば、ASNOVA」を目指して。

循環型社会の実現を目指していく過程で、
足場レンタルの普及や業界の活性化、人材不足の解決を目指し、
「足場」というフィールドにおいて
リーディング・カンパニーとしての地位確立に挑戦していきます。